

# まちかどレポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。  
【問】企画課広報広聴係 ☎ 77・8425

## 各 小学校でスポーツ大会 開催できなかった運動会の代替え催し

10月から11月にかけて、市内各小学校で校内スポーツ大会が行われました。これは新型コロナウイルスの影響で開催できなかった運動会の代わりに催し。雲一つない秋晴れの青空が広がった11月14日、昭代第一小学校（待鳥高司郎校長）では、全校児童213人が縦割り班に分かれ、玉入れや綱引き、大縄跳びで競い合いました。体育委員長を務めた6年生の梅崎蘇磨くんは、「小学校最後の運動会ができなくて残念だったけど、今日はみんなが楽しんでくれたのでよかった」と汗をぬぐいながら話してくれました。



秋晴れの運動場に児童の歓声が響き渡った



入賞を報告した西田さん（左）と石橋さん

## 高 校生2人が全国大会で快挙 全国のカヌー大会で上位入賞

9月9日から13日に石川県で行われた第16回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会で、昭代中学校出身で三瀨高校2年の石橋佳世さんが女子500mの部で優勝、大和中学校出身で同校3年の西田一葉さんが男子1000mの部で準優勝に輝きました。2人は10月30日、市役所を訪れて金子市長に入賞を報告。今後の目標について、石橋さんは「来年のインターハイで優勝」、西田さんは「大学に進学してインターカレッジで日本一」とそれぞれ力強く語りました。



柳川藩ゆかりの刀剣を寄贈した原田さん（左）

## 大 河ドラマ誘致の大きな力に 藩主立花家の子孫が柳川ゆかりの刀剣寄贈

旧柳川藩立花家16代当主立花和雄氏の次女で糸島市在住の原田万紗子さん（76歳）が刀剣6点を市へ寄贈しました。寄贈されたのは刀1点と短刀1点、脇差2点、槍2点。初代藩主立花宗茂の柳川再封のときに、現在の福島県から柳川に移った鬼塚派などの作品です。10月26日、柳川庁舎を訪れた原田さんは「柳川で保存してもらうことで貴重さが伝わる」と寄贈への思いを話しました。鬼塚派の槍と脇差は、12月4日から始まる柳川古文書館の特別展で展示されます。

笑っ亭と我さんによる落語



## 落 語や健康体操で地域交流 東宮永公民館ひとり暮らし高齢者の集い

11月5日、柳川農村環境改善センターで、ひとり暮らし高齢者の集いがありました。このイベントは、東宮永校区社会福祉協議会が地域のコミュニケーションを図ろうと毎年開催。校区内の一人暮らしの高齢者32人が参加しました。まず、長田病院の野口寿美代さんと藤吉孝子さんを講師に迎えて健康講座を実施。フレイルや肺炎の予防などについて説明した後、参加者と一緒に健康体操をしました。その後、笑っ亭と我さんが落語を披露。会場は大きな笑いに包まれました。

今年は雨天のため婦人会館で開催された



## 山 頭火支えたスズメの俳人しのぶ 木村緑平第52回句碑祭

南浜武出身で自由律俳人、木村緑平の第52回句碑祭が、10月22日、柳川市婦人会館で開催されました。大牟田や田川で炭鉱医などをしながら、5・7・5のリズムにとらわれない自由律の道をコツコツと歩み続けた緑平。自由奔放に生きる「放浪の俳人」として知られる種田山頭火を物心両面で支え、3000を超えるスズメを詠んだ句で「スズメの俳人」と呼ばれました。この日は、市内外から約40人が参加。献花などを行い、偉大な俳人の功績をしのびました。

秋晴の下、上手に稲を刈る児童



## こ んなに大きく育ったよ 有明小の児童が稲刈り体験

10月27日、有明小学校（古賀幹大校長）の児童36人が、同校近くの田んぼで稲刈りをしました。児童に食の大切さを学んでもらうことが目的です。この稲は同校の1年生から3年生が6月ごろに植えたもの。当日は大きく育った稲を4年生から6年生が、地域のボランティアの指導を受けながら鎌を使って収穫しました。稲刈りを体験した4年生の藤丸央丞くんは「初めての稲刈りだったけど、思ったより上手くできた。食べるのが楽しみ」とうれしそうに話していました。

感謝状を受けとった長谷川さん（右）と藤田さん（中央）



## 迅 速な初期消火活動を表彰 長谷川さんと藤田さんに感謝状を贈呈

10月26日、市消防本部は、迅速な初期消火活動で火災の拡大を防いだとして、長谷川昭好さん（柳河、79歳）と榎河建の藤田貴理さん（47歳）に感謝状を贈りました。2人は、6月22日に近所の住宅倉庫から白い煙と炎が上がっているのを発見。現場にあった水道ホースや鍋で水をかけるなど協力して消火活動を行いました。倉庫の隣の住宅には、子ども2人が留守番をしていて、感謝状を受け取った2人は「子どもが大事に至らなくてよかった」と話しました。